

「空き家問題 アクション・プラン」

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力・主体性・積極性・尾道市民としてのアイデンティティ

1 単元について

- 本校における総合的な学習の時間の目標及び本単元で育てたい資質・能力は以下の通りである。

郷土を素材とした活動や体験を通して、課題を自ら見出し、仲間と協力して探究活動に取り組む態度を育てるとともに、郷土への愛着を深め、郷土のよさを守ろうとする態度を育てる。本単元では、課題発見・解決力（スキル）、主体性・積極性（意欲・態度）、尾道市民としてのアイデンティティ（価値観・倫理観）の資質・能力を育てる。

(1) 単元観

本単元においては、地域貢献を図る探究的な学習を行うことを通して、地域の空き家問題を取り上げ、児童自ら課題を発見し、解決方法を考えて実行することで、児童の課題発見・解決力（スキル）と、主体性・積極性（意欲・態度）、尾道市民としてのアイデンティティ（価値観・倫理観）を育てることをねらいとしている。

本教材は、土堂地区の空き家問題を取り上げることで児童の関心を高め、1学期の単元「映画のまち尾道」で学習した尾道の風景のよさや尾道市民の心の豊かさを既習として、地域というフィールドを存分に活用しながら問題解決に向けて探究するために適した教材である。児童は地域の一員として問題解決に参画することで、尾道市民としてのアイデンティティを高め、自己の生き方を考える際においても適した教材である。

また、本単元は国語科の「話す・聞く」学習や「書く」学習との関連も考慮し、児童が主体となって話し合い、収集した資料を基にまとめて表現する言語活動を行い、教科学習における探究的な学習を進めることもねらいとしている。

(2) 児童観

課題発見・解決学習の実態

質問紙調査*の結果、以下の実態が見られた。

課題設定では、「自分で課題を決めている」と回答した児童が約81%であった。また、課題設定時の難しさとしては「調べたいことが多くて選べない」が約48%、「調べたいことが思いつかない」が約39%であり、学級を二分する結果となった。

情報収集では、これまでに経験した情報収集の方法は一人平均3個で、収集を経験しているが方法として自覚していない児童もいる。

整理・分析では、これまでに経験した整理・分析の方法は一人平均1個で、整理・分析の経験自体が不足していると推察される。

まとめ・創造・表現では、調べたり分かたりしたことを伝える活動でこれまでに経験した方法は一人平均1.5個で、表現方法が固定化しており、経験の不足や、創造したり実行したりする活動の不足などもあげられる。

さらに昨年度までの解決学習の課題から、体験活動の不足や課題解決プロセスのパターン化、教師による支援過多、教科との関連もあげられる。

※第4期中核教員研修(平成27年6月12日)

(3) 指導観

本単元の課題発見・解決学習では、特に以下の点を重点に取り組む。課題設定では、学習課題を自ら発見させるため、市のランキングを知ったり、地域の人から市の現状について話を聞いたりする活動を設定する。

情報収集では、実際に地域に出掛けて空き家を調べたり、問題解決に取り組んでいる地域の人から話を聞いたりするなど多様な方法で情報収集させる。

整理・分析では、シンキングツールを用いて情報を整理し分析する場を設定して、その方法を学ばせる。また、国語科の「話す・聞く」や「書く」学習と関連を図り、教科での課題発見・解決学習につなぐ。

まとめ・創造・表現では、整理・分析した情報を基に空き家問題解決プランを創造させる。中間発表の場を設定することで、推敲や修正をして、伝えたい事柄を整理にして分かりやすく表現する力を育てる。

実行では、解決プランを発信する場を設定することで、学習したことを表現する喜びや地域の一員として問題解決に参画しようとする意識を高める。

振り返りでは、単元全体を通して学び方に視点をあてて解決のプロセスを振り返らせたり、教科との関連を想起させたりして自己肯定感の向上を図る。

(4) 単元でめざす児童の姿

- 地域の空き家問題の現状と取組、課題の概要を知り、解決に取り組む人々の思いや生き方を知る。（知識）
- 探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら解決方法を考え、目的意識をもって情報収集、整理・分析、自己評価するなど、問題を解決する方法を身に付ける。（スキル）
- 土堂地区の空き家問題の解決方法を考えることを通して、地域の役に立ちたいという思いをもって、主体的、協同的に課題を解決したり、自己の生き方を考えて実践したりしようとする。（意欲・態度）
- 地域の空き家の問題解決に向けて解決方法を創造し実行することで、地域の一員としての自覚をもち、尾道の昔ながらの風景やそこに住む人々の生き方を大切にす。（価値観・倫理観）

2 単元の評価規準

	知識	スキル	意欲・態度	価値観・倫理観
単元の評価規準	<p>地域には昔ながらの風景が多くあり、その景観を大切にしている人々の取組や思いがあることに気付いている。</p> <p>地域の空き家問題の現状や取組、今後の課題について概要を知っている。</p> <p>地域の問題解決に取り組む人々の思いや生き方の大体を知っている。</p>	<p>学習課題を解決するための方法を考えている。</p> <p>地域の問題を解決するために、目的や相手に応じて、調査方法、記録の仕方などに留意しながら調べたり表現したりしている。</p> <p>自分の学習や活動を振り返り、修正したり自己評価したりしている。</p> <p>教科との関連を図りながら問題解決をしている。</p>	<p>地域の問題を解決するために、自分にできる方法を主体的に考えている。</p> <p>他の人の意見も取り入れて自分の考えをよりよくしようとしている。</p> <p>これからの自分の生き方について考え、生活に生かしたいことを考えている。</p>	<p>地域の問題解決に向けて取り組むことの大切さを感じている。</p> <p>地域の一員としての自覚をもち、地域の風景や人々の生き方のよさや大切さを感じている。</p>

3 本単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

本単元においては、地域の空き家問題を題材として取り上げ、空き家問題解決に向けて取り組んでいる地域の人々との連携を通して解決方法を多面的に考え、創造する活動を中心とした単元を構成することで、児童の主体的な課題発見・解決学習を支援する。これらのことを通して、地域の空き家問題の現状と人々の思いについての理解（知識）を深め、情報収集や整理・分析、振り返りなどを繰り返しながら探究活動に慣れることで課題発見・解決力（スキル）を育成する。また、地域のために役に立ちたいという思いを抱かせることで課題解決への主体性・積極性（意欲・態度）や、尾道市民としてのアイデンティティ（価値観・倫理観）を育成する。

4 指導計画（全30時間）

次	学習活動	資質・能力の評価 (評価方法)	教科の課題発見・解決学習
一 (問題についての現状理解)	<p>課題の設定</p> <p>尾道のランキング※を知り、地域の現状について関心をもち、学習課題を設定する(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土堂小学校の周辺が日本遺産に登録された ・行ってよかった日本の展望スポット第4位 ・おすすめのサイクリングコース第1位 ・世界で最も美しいサイクリングロードベスト7 ・でも！全国住みたい街ランキングは第70位！ 	<p>尾道の住みたい街ランキングが低い理由について、具体的な土堂地区のようすをあげながら考えている。【主体性・積極性】(ワークシート)</p>	
	<p>どうして尾道の住みたい街ランキングが低いのか調べよう。 尾道を住みたい街にしよう。</p>		
	<p>情報の収集</p> <p>尾道の現状について市役所の人に話を聞く。(1)</p> <p>現地に行って見学する。(2)</p> <p>ふりかえり</p> <p>収集した内容と活動を振り返り、自己評価する。(1)</p> <p>課題の設定</p>	<p>学習課題に対して関心をもち、進んで学習計画を立てている。【主体性・積極性】(ワークシート)</p> <p>大切なことを落とさないように、適切にメモを取っている。【課題発見・解決力】(ワークシート)</p> <p>スキルや意欲に関するコンピテンシーに基づいて自己評価し、次の目標を書いている。【課題発見・解決力】(ワークシート)</p>	
	<p>尾道のよさを生かしながら土堂地区の空き家問題を解決する方法を考えよう。</p>		
	<p>学習計画を立てる。(1)</p> <p>解決方法を考え、話し合う。(1)</p> <p>依頼文を書き、準備をする。(1)</p>	<p>目的を明確にもち、それを解決するため方法を考え、伝えたいことを整理して質問文を書いている。【課題発見・解決力】(ワークシート)</p>	

<p>二 (取組の様子と人々の思い)</p>	<p>情報の収集</p> <p>空き家再生に取り組んでいる人や地域に住む人、観光客などから話を聞く。(4)</p> <p>整理</p> <p>収集した情報を整理する。(1)</p> <p>ふりかえり</p> <p>収集した内容をまとめ、自己評価する。(1)</p> <p>整理・分析</p> <p>尾道市民として自分たちができる解決方法は何かという視点で収集した情報を整理・分析する。(1)</p> <p>まとめ・創造・表現</p>	<p>大切なことを落とさないように、適切にメモを取っている。【課題発見・解決力】(ワークシート)</p> <p>収集した情報を、目的意識をもって整理している。【課題発見・解決力】(ワークシート)</p> <p>地域のために取り組むことの素晴らしさを感じている。【尾道市民としてのアイデンティティ】(ワークシート、行動観察)</p> <p>スキルや価値観などのコンピテンシーに基づいて自己評価し、次の目標を書いている。【課題発見・解決力】(ワークシート)</p> <p>収集した情報を整理し、自分たちにできることの視点で分析している。【課題発見・解決力】(ワークシート)</p>	<p>国語科 「立場を決めて討論をしよう」(9)</p>
<p>土堂地区の空き家を減らしたい。 ホームページを作って、市役所やNPOなどの人に見てもらおう。そして、世界へ発信しよう。</p>			
<p>三 (解決プランの創造・実行)</p>	<p>表現する内容を考え、作成する。(国語科で) (例) 「空き家の現状、取組の内容、生活の不便さ、町や人のよさ」をまとめ、全国の人に発信する。不足している情報を調べる。(国語科で)中間発表会を行う。(2)</p> <p>内容を修正する。(2)</p> <p>ふりかえり</p> <p>活動を振り返り、自己評価する。(1)</p> <p>実行</p> <p>ゲストティーチャー(市役所やNPOなどの人)に発表する内容を決め、練習する。(6)</p> <p>ゲストティーチャーに発表する。(2)</p> <p>ホームページを発信する。(1)</p>	<p>整理した情報を効果的に用いて、プランを完成させている。【課題発見・解決力】(成果物)</p> <p>問題を解決するために自分でアイデアを出し、解決しようとしている。【主体性・積極性】(成果物、行動観察)</p> <p>自分の意見や知識と比べながら発表を聞いて感想を述べたり書いたりしている。【課題発見・解決力】(ワークシート、行動観察)</p> <p>他の人の意見も取り入れて改善案を考えている。【主体性・積極性】(ワークシート、行動観察)</p> <p>スキルや意欲などのコンピテンシーに基づいて自己評価し、次の目標を書いている。【課題発見・解決力】(ワークシート)</p> <p>自分の立場を明確にし、根拠を明らかにして考えを表現している。【課題発見・解決力】(ワークシート、行動観察)</p> <p>地域の一員として地域の活性化について考えることの大切さに気付き、自分にできることを考えている。【尾道市民としてのアイデンティティ】(ワークシート、行動観察)</p>	<p>国語科 「資料を生かして考えたことを書こう」(7)</p>
<p>四 (振り返り)</p>	<p>ふりかえり</p> <p>単元で身に付いた力と学び方を振り返り、自分の生き方を考える。(1)</p>	<p>スキルや意欲、価値観、知識などのコンピテンシーに基づいて自己評価し、次の目標を考えている。【課題発見・解決力】(ワークシート)</p> <p>これからの自分の生き方について考え、生活に生かしたいことを考えている。【主体性・積極性】(ワークシート)</p>	

※「行ってよかった日本の展望スポット2014(トリップアドバイザー)・・・全国第4位 尾道千光寺
「おすすめのサイクリングコース」(日経プラスワン・何でもランキング, 2010)・・・全国第1位
「世界で最も美しいサイクリングロード」(アメリカ・CNN)・・・ベスト7
「全国住みたい街ランキング2014」(SBI ライフリビング株式会社)・・・第70位

(引用: ゆうこうダイジェストNo. 1, 平谷祐宏後援会, 2015)

5 本時の展開（15，16／30） ※75分を想定

(1) 本時の目標

- ・ 収集した情報の中から、自分たちができることは何かという視点で情報を整理したり、新しい方法を創造したりすることができる。【課題発見・解決力】

(2) 観点別評価規準

- ・ 自分たちができることを考え、明確にして整理している。【課題発見・解決力】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆）		評価規準（評価方法） 資質・能力（★）
	T1	T2	
1 これまでの学習を想起する。	・ 空き家再生にむけた取組や人々の思いを想起させる。	・ 児童の感想や本時のめあてを板書する。	
2 めあてを設定する。	たくさんの人に土堂地区に住んでもらえるよう、自分たちができる方法を考えよう。		
3 個人で学習をまとめる。	・ 付箋紙に解決方法と名前を書かせ、ワークシートに貼らせる。 ◆ 質問しながら思いを引き出す。	・ 収集した情報を基に、自分たちが今できること、大人になってできそうなことの視点で整理していき、自分たちの主張を焦点化していくことを伝える。	★ 自分たちにできることを考え、内容と方法などを整理している。【課題発見・解決力】（ワークシート）
4 グループで交流し整理する。	・ シンキングツール（ピラミッド・チャート）を板書する。	・ 付箋紙に解決方法と名前を書かせ、ワークシートに貼らせる。 ◆ 質問しながら思いを引き出す。	
5 全体で交流し合ってまとめる。	・ グループで交流し、まとめさせる。 ◆ 時間不足のグループを支援する。	・ グループで交流し、まとめさせる。 ◆ 時間不足のグループを支援する。	
6 方法を決める。	・ 交流した内容や気付いたことを発表させる。 ・ 古い物も大切に生かして空き家問題を解決しようとしていることの素晴らしさに気付かせる。 ・ リーフレットやホームページなど可能な方法を出させる。	・ 交流した内容や気付いたことを発表させ、ピラミッド・チャート等で板書する。 ・ 大人になってからできることを考えていることの素晴らしさに気付かせる。 ・ 児童から出た意見を板書する。	
7 振り返る。			
8 個人で解決プランを考える。	・ 個人でワークシートに原案と理由を書かせる。	・ 個人でワークシートに原案と理由を書かせる。	
9 新たな学習課題を発見する。	・ 書いていて困ったことを出させ、まとめ方を勉強するための方法を考えさせる。	・ 国語の教科書が使えないか問いかける。	
10 国語の学習課題につなげる。	国語で「資料のまとめ方」を学習して、総合に生かそう。		※国語科との関連